

発行所
石川県保険医協会
 〒920-0902 金沢市尾張町2丁目8番23号
 太陽生命金沢ビル8階
 ☎(076) 222-5373番 FAX(076) 231-5156番
 URL <http://ishikawahokeni.jp/>
 編集部E-mail; iskw_sugino@doc-net.or.jp
 発行人 西田直巳
 印刷所 ソノダ印刷株式会社
 購読料 1年間5,000円(〒共)
 (※本紙の購読料は会費に含まれます)

石川保険医新聞

主な記事

- 2面 全国歯科討論集会
- 3面 レセプトオンライン請求問題
- 4面 第2休業保障募集案内
- 5面 歯科講演会案内
- 7面 介護報酬検討会の案内
- 7面 新年号への読者のご意見

今月の会員数/1015人(医科725人・歯科290人)

第5回なんでも学術!なんでも回答?よろず勉強会

抗菌薬の使用方法で目からウロコ

理事 三宅 靖(金沢市・内科)



感染症の基本から各疾患別の抗菌薬の使用方法について、たくさんのスライドを用いて説明する松島実会員(城北病院内科)

「第五回なんでも学術!なんでも回答?よろず勉強会」が、一月二十九日、金沢都ホテルで開催されました。

今回は、「外来での抗菌薬の使い方」を話題として取り上げました。感染症は日常診療の中でもごくあり

ふれたものですが、その際の抗菌薬の用い方は医療機関によって、あるいは医師によってもかなりばらつきがあるのが現状と思われま

す。そのためか、今回は会員の先生方の関心も高く、よろず勉強会としては過去最多の十八人の会員参加がありました。

また、今回は講師として、城北病院内科の松島実先生をお招きしました。松島先生は沖縄中央病院、亀田総合病院などで感染症の研究を積まれた新進気鋭の臨床医で、日常診療に即した感染性治療の考え方を話していただきました。

松島先生からは、気道感染症を中心として、感染症治療の基本から抗菌薬の選択および投与方法まで、幅広い内容をお話しいただきました。

会場からはたくさんの質問が寄せられ、活気あふれる勉強会になった



いわゆる「かせ」では抗菌薬は必要ないこと、咽頭炎・副鼻腔炎・中耳炎・気管支炎でも必ずしも抗菌薬を必要としないこと、肺炎の治療では抗菌薬の使用が原則であるが重症度、起病菌を見定めることが重要であることなどにつき、とても明確な説明がありました

一方、フロアからは在宅治療をしている感染症リスクの高い患者さんへの対応や慢性副鼻腔炎・副鼻腔気管支症候群に対するマクロライド少量の長期投与に関することなど、活発な質問が続出し、予定した時間があつという間に過ぎてしま

った印象でした。もとよりこの「なんでも学術!なんでも回答?よろず勉強会」は、日常診療でちょっと疑問に思うことや自分のやり方で本心に正しくのか時々不安に思うことなどを忌憚なく話していただくという趣旨のもので、今後も「明日からの診療に役立つこと」を題材にして、ミニレクチャーやフリートーキングを織り交ぜて続けていく予定です。今回はまだ詳しい日程は未定ですが、できるだけ多くの会員の先生方にご参加いただくことを目指して「少し得をし」たいと思っています。

石川県保険医協会第35回定期総会のご案内

【記】

- 日時 2009年3月21日(土) 午後6時～8時50分
- 会場 金沢都ホテル 5階「加賀の間・西」
(金沢市此花町6番10号/電話076-261-2111)

第1部 記念講演
(午後6時～午後7時40分)

《演題》
現代日本の貧困問題
 ～いま、社会保障基本法が必要な理由～

《講師》
 都留文科大学教授 後藤道夫氏

※定員50人(参加は無料ですが、申し込みが必要です)

第2部 総会議事
(午後7時50分～午後8時50分)

- ・2008年度活動報告および2009年度活動方針案
- ・2008年度決算報告および2009年度予算案
- ・役員改選
- ・総会アピール
- ・特別功労者の表彰

※役員改選に関するご案内

第35回定期総会では、任期満了に伴う役員改選を行います。当協会理事会では役員選考委員会を設けて、広く会員の皆様のご意見を募り、役員選考に反映させたいと考えています。総会では次の役員(会長:1人、副会長:若干人、理事:若干人、監事:2人)を選出します。自薦、他薦、その他役員選考に関するご意見につきましては、2月末日までに書面にて当協会事務局までお届けくださるようお願いいたします。

医心凡語

厚労省の不祥事が続いたことに寄せて、厚労省元幹部に対する殺傷事件が起こった。容疑者の言い分はまったく身勝手、矛先の向け方は見当違いも甚だしい。かつて未成年者による同様の事件が続いたが、今では分別あるはずのいい年をした大人の事件が目立つ

▼昔は、恋にしろ、金銭の問題にしろ、罪は許せないけれど、理解できる範疇にあったが、昨今のそれは、その範囲を大きく逸脱している。それに比べたら、一時はやった新人類などは、おとなしいものである▼元関東医療少年院の杉本研士氏によると、酒鬼薔薇聖斗に代表される凶悪犯罪を起こした少年に対しては、「赤ちゃんを育て直す」という気持ちで、家族のように共に行動し、共に作業する時間を積み重ねることから作り直したという。その中で、重点はいくつかあるが、暮らしの中でおもしろいことを一つでも見いだせる感性をはぐくむこと、病人、老人や子どもなどを思いやれる共感能力を身につけることが大切だと述べている▼未成年者の間からは、立ち直ってくれる可能性は十分にあるが、大人になつてからは極めて難しいことだと思ふ▼脳研究の進んだ今日でも、そのあたりの解明はできないものだろうか。それとも、世の中が変わらないとだめなのだろうか。

保団連非核・平和部会

金沢のつどい成功のお礼を伝えに大阪へ

被爆が風化していない現実を肌で感じて

副会長 大平 政樹(金沢市・外科)

昨年末、金沢市医師会六連区の忘年会で、「大阪ではクラクションを鳴らすと、それだけでやばい」などという評判を吹き込まれた後、この度出張となった。通常は東京で開かれる部会がたまたま大阪となったのだが、最初から気の重たいお出かけだ。

想像通り、大阪保険医協会事務所にたどり着くまで、四苦八苦だった。地下鉄も分かりにくければ、電車を降りてから、会場まではクラクションを鳴らすもまるでちんぷんかんぷんだった。今後の活動へのステップとなるべく、開催報告並びに多様な協力に対して深甚の謝意をお伝えした。

今回の部会出席は十一月二十二、二十三日に開かれた「(イン) Kanazawa」への協力お礼を述べることが大きな目的である。もうすでに報告されている通りだが、石川県のつどいは自衛隊、田母神航空幕僚長論文への抗議運動③九条の会全国交流会(十一月

二十四日)④九条医療者の会講演会(十一月二十九日)⑤非核の政府を求める会のシンポジウム(十二月十三日)、などの報告が行われた。そのほか各地の取り組みが順に発表され、長崎・広島をはじめとして、熱い思いが語られた。この部会の特徴は保団連の中でも際立って各部署の損得抜きでの使命感に支えられたものであることだ。

五分間ルールで厚労省と喧嘩したこと、つとに有名な保団連(長崎協会)本田理事より、長崎被爆についてのスモールレクチャーがあった。スライドを通して、被爆範囲の地理的特徴、被爆の歴史など、実に分かりやすいものだった。現在の長崎被爆認定者は、世界全体で六万三千九百三十七人。現在の居住地は、南米にまで広がる。認定基準の変更に伴い、例年なら財政的視点のみから五百人前後とされてきた新規認定は、今年に入って急増している。が、処理能力の低さから、申請に対して認定作業の遅れが著しい。ちなみに本田医院では十一月外来患者三百四十六人中、広義の被爆体験者は百七十七人だった。今なお被爆が風化していない現実を肌で感じ、十分に言葉だった。

一月二十四日(土)、東京虎ノ門パストラルホテルにて行われた「二〇一〇年度歯科診療報酬改定対策各県代表者討論集会」に参加したので報告する。

この会議は、二〇一〇年度に行われる改定を前に、基本的考え方等について意見交換し、次回改定対策について認識の共有を図るために行われたものである。

初めに馬場保団連副会長から基調報告があった。昨年六月に行われた医療経済調査報告では、個人歯科診療所の二〇〇七年六月の医療収入は二年前調査の同月より約一割減ったということがある。同じ時期に保団連が行った同様の調査でも二〇〇七年六月と比べて患者数が、「減ったある

導な抗生物質」、医師とコ・メディカル講演会「新しい創傷・褥創治療の実際」の開催計画、介護報酬改定のポイントと

「新しい創傷・褥創治療の実際」の開催計画、介護報酬改定のポイントと

「新しい創傷・褥創治療の実際」の開催計画、介護報酬改定のポイントと

「新しい創傷・褥創治療の実際」の開催計画、介護報酬改定のポイントと

第16回理事会点描 総会の準備着々

(1月20日開催・12人出席)

一カ月半ぶりの理事会で各部とも多彩な報告があり、三時間を超える会議となった。

報告事項の主なものは次の通りである。

総務部から、年間三十人の会員増の目標や事務局就業規則改定案の確認、火災見舞金の決定。財政部から、協会財政今後の連結シミュレーションの次回提出と、予算案プロセスについて。経営・共済部から、休保給付金を巡る事例の経過と第二休保の免責四日選択制導入。歯科部から、来年度開催予定の歯科・医科隣接医学講演会(仮称)の講師選定、「歯科保険診療

導の変更に伴い、例年なら財政的視点のみから五百人前後とされてきた新規認定は、今年に入って急増している。が、処理能力の低さから、申請に対して認定作業の遅れが著しい。ちなみに本田医院では十一月外来患者三百四十六人中、広義の被爆体験者は百七十七人だった。今なお被爆が風化していない現実を肌で感じ、十分に言葉だった。

歯科診療報酬改定対策各県代表者討論集会

歯科の経営危機打開策を討論

診療報酬引き上げと患者負担軽減のために

宮田 英利(金沢市)

一月二十四日(土)、東京虎ノ門パストラルホテルにて行われた「二〇一〇年度歯科診療報酬改定対策各県代表者討論集会」に参加したので報告する。

この会議は、二〇一〇年度に行われる改定を前に、基本的考え方等について意見交換し、次回改定対策について認識の共有を図るために行われたものである。

初めに馬場保団連副会長から基調報告があった。昨年六月に行われた医療経済調査報告では、個人歯科診療所の二〇〇七年六月の医療収入は二年前調査の同月より約一割減ったということがある。同じ時期に保団連が行った同様の調査でも二〇〇七年六月と比べて患者数が、「減ったある

導の変更に伴い、例年なら財政的視点のみから五百人前後とされてきた新規認定は、今年に入って急増している。が、処理能力の低さから、申請に対して認定作業の遅れが著しい。ちなみに本田医院では十一月外来患者三百四十六人中、広義の被爆体験者は百七十七人だった。今なお被爆が風化していない現実を肌で感じ、十分に言葉だった。

導の変更に伴い、例年なら財政的視点のみから五百人前後とされてきた新規認定は、今年に入って急増している。が、処理能力の低さから、申請に対して認定作業の遅れが著しい。ちなみに本田医院では十一月外来患者三百四十六人中、広義の被爆体験者は百七十七人だった。今なお被爆が風化していない現実を肌で感じ、十分に言葉だった。

導の変更に伴い、例年なら財政的視点のみから五百人前後とされてきた新規認定は、今年に入って急増している。が、処理能力の低さから、申請に対して認定作業の遅れが著しい。ちなみに本田医院では十一月外来患者三百四十六人中、広義の被爆体験者は百七十七人だった。今なお被爆が風化していない現実を肌で感じ、十分に言葉だった。

導の変更に伴い、例年なら財政的視点のみから五百人前後とされてきた新規認定は、今年に入って急増している。が、処理能力の低さから、申請に対して認定作業の遅れが著しい。ちなみに本田医院では十一月外来患者三百四十六人中、広義の被爆体験者は百七十七人だった。今なお被爆が風化していない現実を肌で感じ、十分に言葉だった。

導の変更に伴い、例年なら財政的視点のみから五百人前後とされてきた新規認定は、今年に入って急増している。が、処理能力の低さから、申請に対して認定作業の遅れが著しい。ちなみに本田医院では十一月外来患者三百四十六人中、広義の被爆体験者は百七十七人だった。今なお被爆が風化していない現実を肌で感じ、十分に言葉だった。

導の変更に伴い、例年なら財政的視点のみから五百人前後とされてきた新規認定は、今年に入って急増している。が、処理能力の低さから、申請に対して認定作業の遅れが著しい。ちなみに本田医院では十一月外来患者三百四十六人中、広義の被爆体験者は百七十七人だった。今なお被爆が風化していない現実を肌で感じ、十分に言葉だった。

第17回 会員デビュー講演・シンポジウム

- とき 4月22日(水) 午後7時半~9時
- ところ 金沢都ホテル 5階「蓬莱の間」
- 講師 ①津山 博先生/白山市・津山クリニック/外科
②中村喜久先生/金沢市・中村医院/内科
③能崎純一先生/加賀市・のぞき脳神経外科整形外科クリニック/脳外科



※詳しくは、後日案内チラシでお知らせします。

わゆる「五十二年通知」への対処としては、廃止論を含め、今後の扱い次第で、特に補綴関連で拡大した点を求めるよう運動をしよう、具体的なデータを示しコスト・費用に見合った点数を求めるよう運動をしようか」「訪問診療の加算を適正にするよ」などの意見が聞かれた。馬場保団連副会長からは「食べること」を中心に歯科医院にかかる風潮を作るよう、世論に訴えかけるなどの運動も必要だと考えている」との提案があった。

医師とコ・メディカルのための講演会2009

テーマ **新しい創傷・褥創治療の実際**

●講 師 / 高岡駅南クリニック院長 **塚田 邦夫**先生

●と き / 2009年5月24日(日) 午前10時~12時

●と ころ / **金沢都ホテル 7階「鳳凰の間」**

(JR金沢駅東口正面 TEL:076-261-2111)

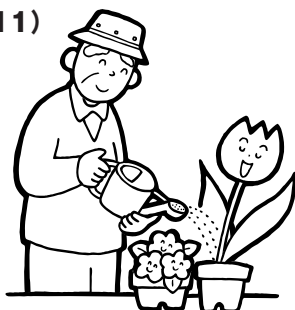
※都ホテル以外の駐車場は有料になります。
参加者のご負担をお願いします。

●定 員 / **150人** (定員に達し次第、締め切らせていただきます)

●参加費 / **500円** (会場受付にて徴集させていただきます)

●申し込み

保険医協会までFAXまたはE-mailで (医療機関・施設・勤務先名、申し込み代表者氏名、参加人数、電話番号、職種を記載してください)



たくさんの参加をお待ちします

石川県保険医協会の人気シリーズ「医師とコ・メディカルのための講演会」、今年は高岡駅南クリニック院長の塚田邦夫先生をお招きし、「新しい創傷・褥創治療の実際」と題した講演会を開催します。

最近、傷に対する消毒や治療の考え方が大きく変わったことをうすうす知りながら、つい消毒してしまったりしていませんか。また、褥創に対しても保険医の在宅医療の実践という視点からは、あまり語られることがありませんでした。

塚田先生は、このテーマに関する数多くの著書がある実地医家です。外来・在宅・施設の現場で、医師とコ・メディカルが共有できる貴重な勉強の場になることを期待して、皆さまのご参加をお待ちしております。

■主催 石川県保険医協会 ◇電話:076(222)5373 ◇FAX:076(231)5156 ◇E-mail:iskw_sugino@doc-net.or.jp

今回から **免責4日** も選択できます

第2休業保障

病気やケガで診療できなくなったときのために

ケガや病気は思いもかけないときにやってきます。そんな時、万一の備えさえあれば、安心して治療に専念できます。この「第2休業保障」は、従来からの「保険医休業保障」とは別の制度として発足し、ご利用いただけてきました。現在、「保険医休業保障制度」の新規や増口のお申し込みをお受けすることができなくなっていますので、「休業保障に入りたかった」「給付額を増やしたい」という先生方は、この機会にぜひご加入ください。

※保険医協会・保団連は、自主共済制度である保険医休業保障を保険業法の適用除外とすることを求めて運動しています。また、保険医休業保障を新たな制度に移行する場合でも、可能な限り現行の制度内容を維持した形で移行ができるよう検討を進めています。

**月額300万円
まで補償**

**既往症があっても
告知すれば加入できます**
※加入できない疾病もあります
(例:糖尿病)

**掛金は
法人負担で損金に
計上可能**
※個人事業主が加入者の場合は
必要経費不可

**74歳まで
加入可**
※満75歳になった後の
3月末で脱退

**掛金の20%
が戻る**
※1年間保険金請求がない場合

**就業不能
5日めから補償**
※免責4日と7日のどちらかを
選択できます

告知は診査なし

受付期間

2月1日~3月10日

加入資格

保険医協会の会員で、現在健康で業務に従事されている方

保険金額

補償月額 1口 **10万円** (30口まで)
給付期間 1年間
免責期間 7日間または**4日間**

1口あたり掛金

今回より、新規加入の際に、免責期間4日を選択できるようになりました。またこの時期、既加入の方も4日への変更が可能です。(ただし告知が必要です。)

加入年齢	免責期間	
	7日間	4日間
25~29歳	950円	1,080円
30~34歳	1,170円	1,330円
35~39歳	1,460円	1,570円
40~44歳	1,820円	1,960円
45~49歳	2,180円	2,280円
50~54歳	2,520円	2,650円
55~59歳	2,700円	2,780円
60~64歳	2,840円	2,920円
65~69歳	3,410円	3,500円
70~74歳	5,680円	5,840円

※「加入年齢」とは、本年4月1日現在の満年齢のことをいいます。

お問い合わせは **石川県保険医協会 共済部** TEL:076(222)5373 FAX:(231)5156

※詳しくはパンフレットをご覧ください。

取扱団体:保団連北信越ブロック 取扱代理店:(有)ヒポクラテス

石川県保険医協会主催 歯科学術講演会

第1部 成長発育と原因の除去に重点を置いた不正咬合治療への試み

講師

福岡 雅氏

(愛知県日進市 aux歯科クリニック)
愛知県保険医協会会員
愛知県歯科医師会会員
愛豊歯科医師会学校歯科保健担当理事

第2部 歯科からすすめる食育 口腔機能はハード・食べ物はソフト お口を育てるのは歯科の仕事です!

講師

宮坂 乙美氏

(大阪府茨木市 医療法人中村歯科 歯科衛生士)
日本食育協会認定食育指導士
DHP認定嚙下トレーナー 歯科衛生士

- とき** 2月22日(日) 9時~13時半ごろ
★第1部と第2部の間に、15分ほど休憩時間をとります。
特に昼食はご準備しておりません。ご了承ください。
- ところ** 金沢都ホテル 5階 兼六の間
(金沢駅東口正面) 電話 076-261-2111
- 参加対象** 会員医療機関の歯科医師、歯科衛生士
- 参加費** 無料 (ただし、非会員医療機関からのご参加は5万円となります)

お申し込みは下記へ
石川県保険医協会 TEL:076-222-5373 FAX:076-231-5156
Email:iskw_ono@doc-net.or.jp



拔牙と抗凝固剤

石川県立中央病院
歯科口腔外科診療部長
宮田 勝 (金沢市)

血栓塞栓症の予防・治療に用いられる抗血栓薬に、経口抗凝固剤と抗血小板薬があり、それぞれの代表薬は、ワルファリンとアスピリン、パナルジンである。

拔牙時にワルファリンを中止すると〇・九%に血栓・塞栓症が生じ、死亡の転帰をたどるとの報告があり、ワルファリン中断による血栓・塞栓症発症が問題になっている。そのため「循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン(二〇〇四)」では、拔牙施行時は、ワルファ

リンを原疾患に対する至適治療域にコントロールした上で、ワルファリン継続投与下で行うことが望ましいとしている。また、最近では虚血性心疾患の治療の際に薬剤溶出性ステントが多用されており、そもそも抗血小板薬の中止は好ましくない。現状では、抗血栓薬を中断して拔牙する歯科医師が多いし、医師側でも、拔牙前の中断は止むなしと考えて中断の指示を出す場合が多い。医師と歯科医師が連携して、少なくとも骨削を伴わない普通拔牙であれば、抗血栓薬は継続のままで拔牙が可能であることを共通の認識として、抗血栓薬中断による合併症の発現を避ける必要がある。

私どもは、PT-INR (Prothrombin Time-International Normalized Ratio) 3.0以下であれば、ワルファリンは中断せず、抗血小板薬も継続のままで、局所止血処置を行い、拔牙している。日本では、ワルファリン継続下での拔牙による拔牙後出血の発生率は四%前後とされる。いずれも軽度の後出血である。

医師側は、手術侵襲の大きな拔牙かどうかは予測できないので、普通拔牙であれば、歯科医師側から、抗血栓薬を中断しないで、拔牙を行うことを対診の際に伝える必要がある。また、原疾患の病名、病態、併用薬、ワルファリン投与中の場合は最近(少なくとも一週間以内、できれば当日)のPT-INR値を確認する。

拔牙時の注意としては、人工弁置換術後の方には抗血栓薬の予防投与、また、炎症のある部位ではあらかじめ消炎しておく。後出血の大多数は、治療のストレスに伴う血圧の上昇である。縫合など局所止血は確実にを行い、多数歯拔牙は数回に分けて行う。

患者さんに安全・安心な治療を提供するために、医科・歯科の共通認識の構築がぜひ必要である。

石川県保険医協会主催 学術講演会

再生医療の現状と乳歯幹細胞バンク 幹細胞を利用した臨床応用に向けた将来展望

講師 伊東 嘉彦氏
(株)クリスタルシャイン 乳歯バンク準備室学術部長

- とき** 3月8日(日) 10時~12時半
- ところ** ホテル金沢 2階 ダイヤモンド
JR金沢駅東口、北鉄駅前センターとなり
電話076-223-1111
(ホテル金沢の駐車場は、地下またはホテル裏手にあります)
- 参加対象** 会員医療機関の医師、歯科医師、スタッフ(定員140人)
- 参加費** 無料(非会員5万円)
※定員に達し参加をお断りする場合は、こちらからご連絡いたします。

お申し込みは下記へ 石川県保険医協会 TEL:076-222-5373 FAX:076-231-5156 Email:iskw_ono@doc-net.or.jp

再生医療ビックバン

~再生医療の現状と乳歯幹細胞バンク~

世界の最先端医療の中で、再生医療が注目を集めています。再生医療とは不可逆的な重症疾患に対して適切な細胞を移植し、本来生体が持っている再生能力を借りて機能や組織を再生させる方法をいいます。

再生医療で一番重要なのは「幹細胞」。白血病の治療に使われる骨髄細胞や臍帯血幹細胞はよく知られています。これらの細胞はボランティアの方々の方々の協力で、骨髄バンクや臍帯血バンクに集められていますが、必ずしも十分な量が確保されているとはいえません。

しかし、これまで永久歯に生え変わると同時に捨てられていた乳歯の歯髄に、有望な幹細胞が存在することがわかりました。この乳歯幹細胞は、骨髄や臍帯血由来幹細胞と比べ、増殖能力、細胞密度、分化能力が高く、優れた特性があると言われています。

今回の講演は、臍帯血保管バンク設立に寄与し、現在、乳歯バンク準備室学術部長の伊東嘉彦先生に、再生医療の現状と乳歯幹細胞の臨床応用に向けた将来展望を紹介していただきます。(詳細は、チラシの抄録をご参照ください)

近未来の再生医療を担う乳歯幹細胞。その最新情報をお届けするこの講演会に、ぜひご参加ください。

